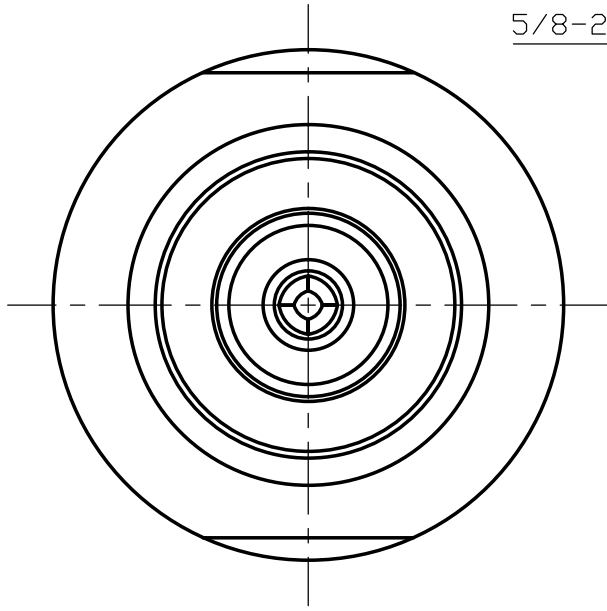
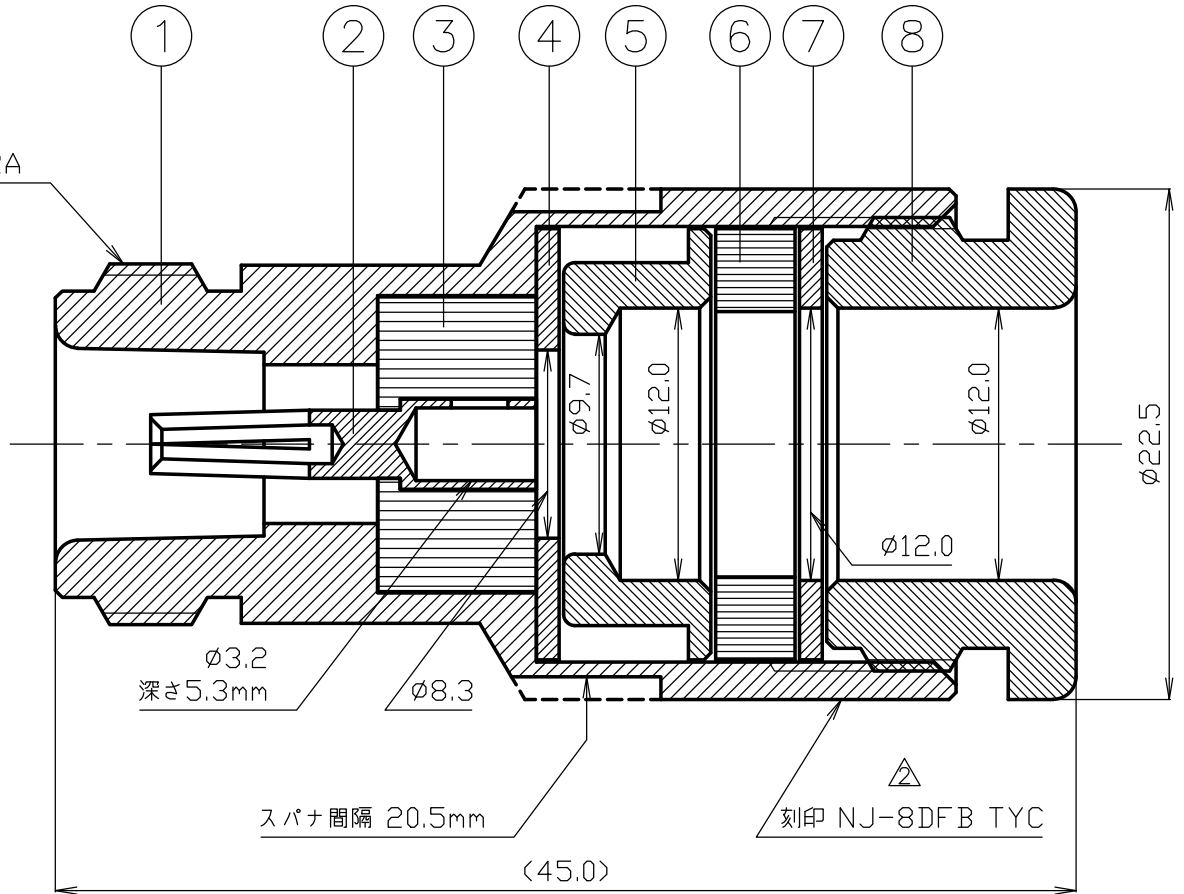


番号	変更・記事	日付	確認
△	AG → NI	2001.05.16	済
△	刻印 NJ-8DFB → NJ-8DFB TYC	2003.04.09	済
△	社名変更	2012.01.05	(山本)



5/8-24UNEF-2A



8	締付金具	黄銅	1	NI	△
7	ワッシャー	黄銅	1	NI	
6	ガスケット	シリコンゴム	1	-	
5	クランプ	黄銅	1	NI	
4	ブッシング	黄銅	1	NI	
3	絶縁体	テフロン	1	-	
2	中心コンタクト	リン青銅	1	AU	
1	シエル	黄銅	1	NI	△
番号	部品名	材質	数量	処理	備考

尺度	3/1
単位	mm
日付	'98.01.22

製図	検図	承認	確認
山 '12.01.05 口	檜 '12.01.05 澤	山 '12.01.05 本	中村 '12.01.05 義

品名	NJ-8DFB
図番	H-0520907-01

仕 様 書

品 名 NJ-8DFB

No. 0520174

図 番 H-0520907-01

株式会社トーコネ

定 格 1 参考規格 JIS-C5411
 2 定格電圧 AC 500V
 3 定格周波数 10 GHz
 4 公称インピーダンス 50Ω

確 認	検 印	作 成
山	檜	山
12.01.05	12.01.05	12.01.05
本	澤	口

項 目	条 件	規 格
1	構造及び形状寸法 材 質 (図番 H-0520907-01) 仕上げ及び表示	異常のないこと
2		
3		
4	絶縁抵抗	DC 500V 1000MΩ 以上
5	耐電圧	AC 1000V 1分間にて 異常のないこと
6	接触抵抗	接触間の電圧降下は、約1KHzの交流 又は直流で1mVを越えない方法にて 3mΩ 以下
7	特 性	
8	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき 異常なく結合すること
9	機械的	抜け止めのあるコン タクトの固定力
10	ケーブル接続強度	軸方向引張力245N以上 異常のないこと
11	雌コンタクトの 保持力	規格ピンゲージで0.98N以上の保持力 異常のないこと
12	繰り返し動作	5000回の抜き差し後 接触抵抗は10mΩ 以下

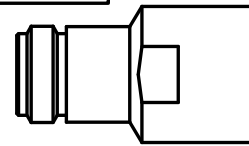
GKQM-19-1

	変更履歴	日 付
1	図番変更 H-0520907→H-0520907-01	2002. 01. 17
2	社名変更	2012. 01. 05
3		

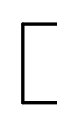
NJ-8DFB 取付仕様書

適合ケーブル 8D-FB、8D-SFA △

部品構成

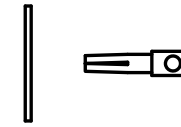


シェル



絶縁体

ブッシング



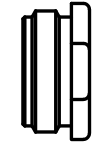
中心コンタクト

クランプ



ガスケット

ワッシャー



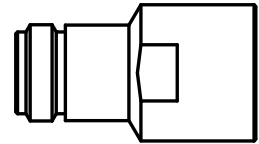
締付金具

図番 S-0520907-01



作成	確認
檜 '14.04.22 澤	山 '14.04.22 本

番号	変更・記事	日付
△	社名変更	2012.01.05
△	適合ケーブル、注記、箔表記	2012.12.26
△		



シェル

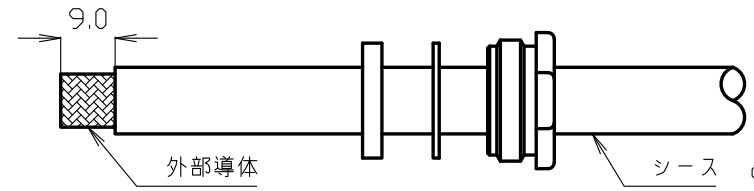


絶縁体

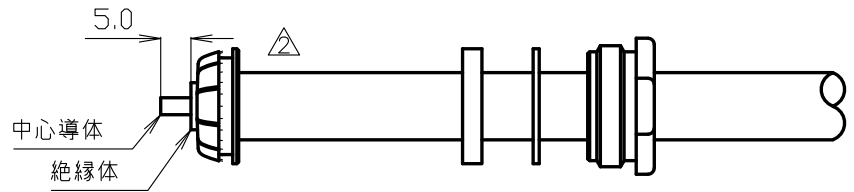


ブッシング

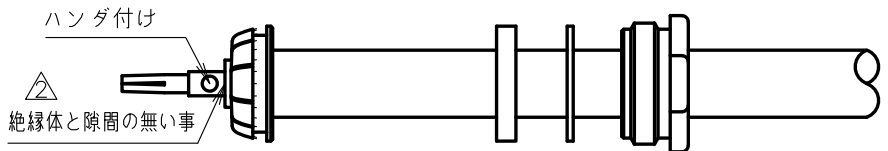
① シェルの中に、絶縁体、ブッシングの順に装着する。



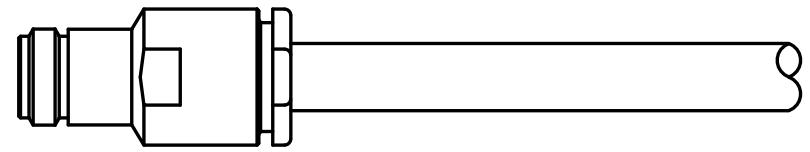
② 同軸ケーブルへ締付金具、ワッシャー、ガスケットの順に通し、シースを図中の寸法で切りとる。



③ クランプを装着した後、外部導体をほぐし折り返して切りそろえ、
△ アルミ箔/銅箔はたんざく状に切り、折り返し切りそろえて、絶縁体を図中の寸法で切取る。



④ 中心導体に中心コンタクトを装着し、半田付けする。
半田が盛り上がらないよう、絶縁体と中心コンタクトの間に隙間が無いよう注意しながら半田付けを行う。
半田付け後、中心コンタクトを軽く引張り、抜けないことを確認する。



⑤ シェルを装着し、締付金具をスパナ等で締め付けて作業を完了する。